

平成24年度科学研究費助成事業（科学研究費補助金）実績報告書
（研究成果公開發表（B））

平成24年12月17日

文 部 科 学 大 臣 殿

課題番号	2	4	5	6	0	0	1
------	---	---	---	---	---	---	---

主催団体所在地	〒600-8107 京都市下京区五条通新町東入東鋸屋町167 ビューフォート五条烏丸3階		
主催団体名	公益社団法人	代表者職名	代表理事
	日本放射線技術学会	代表者氏名	真田 茂 印

シンポジウム・ 学術講演会名	平成24年度市民公開講座 「放射線に関する正しい教育を実施するための基礎講座」				
実施主体 (支部等)	公益社団法人 日本放射線技術学会 学術委員会	代表者職名	学術委員長		
		代表者氏名	石田 隆行		
開催日	平成24年11月23日（金）～平成24年11月23日（金）（1日間）				
会場名	つくば国際会議場		開催地：茨城県つくば市		
参加者数 (※交付申請書に記載 した参加予定者数)	82人				
	(100人)※				
費目別収支決算表					
実支出額の 使用内訳	合計	会場借料	消耗品費	人件費・謝金	その他
	900,076円 (内利息76円)	327,581円	8,335円	110,000円	454,160円
交付申請書 に記載した 補助金の 使用内訳	合計	会場借料	消耗品費	人件費・謝金	その他
	900,000円	300,000円	150,000円	150,000円	300,000円

シンポジウム・学術 講演会の目的	<p>平成21年度の学習指導要領改訂により、「放射線の性質と利用」についての項目が新たに加わり、教育者は数時間の授業を構築する必要が出てきた。しかし、教育者自身が、これまでのキャリアの中で放射線に関して学ぶ機会がなく、書籍や一般人向けの講演会に参加し、独学で何を教育すべきかを学び教育にあたっているのが現状である。</p> <p>そこで本講座では、本団体が得た放射線に関する教育手法のノウハウを社会に還元すべく、今後、中学校や高校において生徒に指導する立場を目指す大学生、加えて現場の教育者に対して、放射線に関する確でわかりやすい授業をする知識を身につけてもらうことを目的とする。また、公益性の確保という意味で、一般市民にも放射線を正しく理解してもらうことも視野に入れた講座とする。</p>
シンポジウム・学術 講演会の概要	<p>プログラムは3部構成で実施した。第1部では中学生および高校生に対して授業をするために最低限必要なことを学んでもらった。「放射能・放射線とは何か?」、「マスメディアに頻出する様々な単位」という基礎的な内容からはじめ、日々の暮らしの中で知らずに恩恵を受けている放射線の有効利用についても触れた。第2部では、福島第一原発事故後の環境中の放射能・放射線の状況と医療被ばくを取り上げて解説し、放射線に対する知識を深めてもらった。第3部では参加者が実験する機会を設け、参加者が教育者になった時に中学生や高校生に対して、放射線を視覚化する方法や放射線測定器の使用方法を学んでもらった。具体的には、実験1として、放射線の軌跡を視覚的に観察できる「霧箱」と筑波大学医学物理学グループが開発した「放射線を検出するとピカピカと光り、音を出して知らせしてくれる簡易型放射線検出器」の作製法を学んでもらった。また、実験2として、サーベイメータの使用法を解説し、生活環境中に存在する放射線を実測してもらった。</p>

主催団体の 事務 連絡者	<p>〒600-8107 京都市下京区五条通新町東入東鋸屋町167 ビューフォート五条烏丸3階 所属・職名 事務局 事務局長 TEL:075-354-8989 (内線なし) 氏名 宮高 睦 FAX:075-352-2556 E-mail: master@jsrt.or.jp</p>
--------------------	---